

初恋のきた道

観賞日 2024年1月22日 上映時間 89分

【概要】

制作 1999年 中国

監督 チャン・イーモウ

原作・脚本 パオ・シー（『初恋のきた道』）

撮影 ホウ・ヨン

音楽 サン・パオ

出演 チャン・ツイイー（若き日の母：チャオディ）

チョン・ハオ（若き日の父：ルオ・チャンユー）、スン・ホンレイ（私：ハオ・ユーシェン）



【あらすじ】

都会に暮らす私は父の訃報を聞き母の暮らす故郷の村に急ぎ帰った。母は父が亡くなった病院から村まで棺を担いで戻ると言ってきかない。母が村人や私の説得に頑として耳を貸さない理由は若き日のある出来事にあった。

今から40年前、母が18歳の時貧しい村に初めて学校ができ、町から20歳の若い先生が赴任した。先生に一目惚れした母は先生のために一生懸命料理を作りもてなした。やがてその思いが先生にも伝わったが、当時吹き荒れていた反右派闘争の嫌疑で先生は突如、町に連行されてしまった。母は先生が好きだといった料理を持って先生の後を追ったが追いつけず、先生からもらった大切な髪留めをも紛失してしまった。母は先生が村に戻ってくると約束した日、決死の思いで「この道」で先生を待ったが寒さの中で気を失った。幸い通行人に救助された母は約束を守った先生に再会、二人は2年後に結婚した。父の遺体は母の願い通り、多数の教え子や村人に担がれて「この道」を通して学校の横に埋葬された。

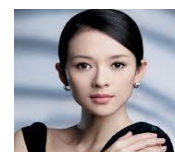
アジア・ビューティー、チャン・ツイイーの映画デビュー作。主人公の一途な思いが観る者の心を洗い目頭を熱くする感動作。

【解説】

■ポイント

●チャン・ツイイー（1979年～）

- 北京市生まれ。1999年の本作で映画初出演にして初主演。翌年の「グリーン・デスティニー」でハリウッドデビュー。その後も、ハリウッド作品に出演し国際派女優として活躍。
- チャン・イーモウ作品には「Hero」（2002年）「Lovers」（2004年）に出演。
- 花王のヘアケア製品アジエンスのCMモデルにも起用され日本での知名度も高い。



●受賞

第50回ベルリン国際映画賞：銀熊賞

■見どころ

●絶妙なタイトル

原題：我的父親母親、英語題：The Road Home、邦題：初恋のきた道
比較してみると、邦題の素晴らしさが良くわかる

●中国の過去と現代

カラー：過去パート（1958年・古い中国）、荷車、機織り、文盲
モノクロ：現在パート（1998年・改革開放後の中国）、自動車

●音楽

主人公の気持ちに寄り添うサン・パオの哀調を帯びたメロディー